

大島高校・神津高校 合同防災研修 (9/23)

朝早く大島から JF で 1 時間の乗船を終え、神津島に降り立ったとき最初に目にしたのは神津島の中央にそびえる標高 574m の白い山、天上山で山頂部は霧が深くかかり見えなかったが、かえってそれが天まで上る山であるかのように我々を錯覚させた。次に目にしたのは周りの手付かずの森とコバルトブルーの海でこの神津島の海は透明度日本一になったこともあるらしい。それらに見入りながら栈橋を歩いていた先に「歓迎」の横断幕を持った神津高校の山崎先生がお出迎えしており、島の反対側にある高校まで送ってくださった。高校についてからの合同防災研修はとても充実したものになり、お互いに良い経験をすることができた。あっという間に船に乗る時間になり「惜別」の横断幕を見ながら神津島を後にした。



合同防災研修の収穫

◆神津島は坂が多く平地は海沿いくらい

神津島には 2 つの港があり、その内の多幸湾(三浦港)を行き帰りに使った。この港は神津高校から山で隔てられた所にあったためそこを越えるのに車で 7 分ほどかかる。高校も山の傾斜にそって建てられているため、学校に入るちょっと前までは坂。



◆島のヶ所に多くの施設が密集している

前浜海岸周辺の比較的なだらかな所に施設が多く建てられ、学校・保育園・役場・診療所・食事処・スーパー・パン屋・神社・Can★Do という 100 円ショップもある。



←多幸浜ではしゃぐ K くん

大島高校・神津高校

合同防災研修 (9/23)

◆600人まで避難できる津波避難タワー

去年に建てられた約27mの鉄筋コンクリート造の建物で600人分の水・食料の他にオムツ類や簡易トイレ、防災グッズも常備されていた。1階階段入口にはカギがかかっているがカギが無くて誰でも開けられるような仕組みが施されていた。今年の11月頃には一般の方に開放して観てもらおうイベントも行い、より身近なものにしていくとのこと。



◆神津高校の全校生徒数は50名ほど

神津高校では離島留学生の受け入れ体制が確保されており現在は15名ほどの留学生が島に来ている。神津高校では大島高校と同じように新入生歓迎会、球技大会、村民大運動会(町レク)、黒潮祭(文化祭)、修学旅行の他に星空観察会や Marine Day という行事がある。Marine Day とはシュノーケリング体験やビーチクリーニングを行い、島の豊かな自然に触れながら美しい自然の保護に寄与していくという日だ。また、島の高校生は休日に海で泳ぐかバイクで島中をツーリングしているらしい。

◆神津島は映画『天気の子』の聖地 ※大島も負けてない

神津高校は『天気の子』の舞台モデルとして登場した1つ。その他にも漫画『オメガドライブ』に出てくる姉島のモデルにもなったそうだが知らなかった。(どちらも)



↑ 神津高校校舎



↑ 映画内



↑ 校門前

◆神津島防災活動支援隊の活動

大島の防災活動支援隊の行っているような活動の他に役場と協力した津波避難ポスターやシールの作成、小学校への出前授業、高校の危険な所などを詳しく示した防災マップがあり、島全体規模で活動していて防災に対する関心はとても強いと感じた。これに似た取り組みを大島でもできないか検討していく。(大島高校防災活動支援隊隊長 吉岡武佑)

